

2018年8月20日
第3285号 for Residents

週刊(毎週月曜日発行)
購読料1部100円(税込)1年5000円(送料、税込)
発行=株式会社医学書院
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
TEL (03) 3817-5694 FAX (03) 3815-7850
E-mail: shinbun@igaku-shoin.co.jp
JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

New Medical World Weekly

週刊医学界新聞

医学書院 www.igaku-shoin.co.jp

今週号の主な内容

- [読書特集]医学書選びのマイルール(安達洋祐,岩田充永,齊藤裕之,上田剛士,市原真,谷口俊文)……………1-3面
- [読書特集]ベッドサイド「漫画」ライブラリー(福武敏夫,近藤慎太郎,今村弥生,忽那賢志,萩野昇)……………4-5面
- MEDICAL LIBRARY/医療勤務環境改善マネジメントシステム研究会第2回シンポジウム……………6-7面

夏休み読書特集

医学生・研修医のための

医学書選びのマイルール



各所で紹介される論文検索の手法は体系化されているのに比べて、医学書の選び方にはこれといった法則がありません。医学生・研修医は先輩や同僚のオスমেに従ったり、インターネットで評価を調べて衝動買いしたりと試行錯誤しながら、時に後悔しつつ、良書を探しているのではないのでしょうか。

本企画では、研修医と日々接する指導医に、「医学書選びのマイルール」を披露していただきました。先輩方を参考に自分なりのルールを構築し、「良き指導者」となる医学書と出会ってください！

安達 洋祐

久留米大学教授/
医学教育研究センター長



序文や前書きに目を通す

論文を選ぶときの基準は、「有名な雑誌の新しい論文」です。同じように、医学書を選ぶときの基準は、「有名な出版社の新しい本」です。書店で棚を眺めるとわかりますが、有名な出版社は幅広い領域で数多くの本を出版しています。新しい本かどうかは奥付の発行年月日を見ます。版数や刷数も大切です。短い間隔で版を重ねているのは新しい情報を取り入れて改訂を繰り返している証拠、刷数が多いのは買った人が多く増刷を重ねている証拠です。

論文同様、医学書を探すときもインターネット検索は便利ですが、関係ない本がたくさん挙がってくるので、取捨選択が大変です。お薦め度や読者レビューも参考になりますが、匿名の個人の感想ですので、信頼できる情報とは言えません。飲食店を選ぶときに「飲み比べ」「食べ比べ」が大切のように、医学書を選ぶときも「読み比べ」が大切です。インターネットで「チラ見」してもいいのですが、実物を手に取ってみたいと分量や全体像はつかめず、ページをめくってみたいと内容や感触はわかりません。

私が医学書を探すときは、大学の書

籍売り場か専門書のある大型書店に行きます。類書が棚に集められているので、読み比べが簡単です。期待に沿った内容か、文が読みやすいか、図表は多いか、写真はきれいかな、イラストは好きか、索引は多いかなど、品定めします。必ず目を通すのは序文や前書きです。そこには著者や編者の思いが述べられており、誰に何を伝えたい本なのかわかります。執筆者の所属や経歴にも目向け、写真があれば人柄を想像しながら評価します。

迷ったときは、伝統ある定番の医学書を選ぶべきです。内科に『Harrison』(Harrison's Principles of Internal Medicine)があるように、外科には『Schwartz』(Schwartz's Principles of Surgery)や『Sabiston』(Sabiston Textbook of Surgery)があります。『Schwartz』は初版が1969年で、現在の10版は2069ページ、『Sabiston』は初版が1936年で、現在の20版は2176ページです。

知識は自信になります。知識は年齢や経験と無関係です。医学生はぜひ内科学と病理学の教科書を読んで医学や病気を学びましょう。研修医や専攻医は『Harrison』や『Sabiston』を読んで世界標準を知りましょう。

以上、私の選び方・探し方を書きましたが、大切なのは「相性」です。書店に行って棚を眺めてみましょう。本を手にとってページをめくってみましょう。「これ、いいな」と感じる本が必ずあります。人も出会い、本も出会います。

*

岩田 充永

藤田保健衛生大学
救急総合内科学講座教授



合格するための勉強から、患者のための勉強へ

大学受験では「志望校に合格するための参考書の選び方」という類の本がよく売れていた気がする。医学生時代は、進級試験や国家試験に効率よく合格できることを目的とした医学書が大人気であった。医師となるまで、勉強の目的は「効率的に試験に合格すること」であった気がする(少なくとも勤勉でない私は……)。しかし、医師となったときから勉強の目的が「試験に合格すること」から「目の前の患者に最善を尽くすこと」に大きく変わる。私たち臨床医は、試験で点数を測定される機会を、専門医取得など限られた機会を除いて、学生時代に比べると格段に減少する。点数で評価されなくなったときにも、目の前の患者のために文字を読んで勉強することをどうか厭わないでほしい。

「目の前の患者に最善を尽くすため

私が研修医のとき、指導医だった兼松隆之先生(長崎大名誉教授・長崎市立病院機構理事長)は、「最初の給料で外国の教科書を買いなさい。そして、改訂のたびに買い直しなさい」と言い

に勉強する」というのは、もっと単純化すれば「日々の臨床での疑問を解決するために医学書を読む」と言い換えることができる。

僕は、下記のような基準で医学書を選んできた。

①少しでも質の高い「その場しのぎ」をするためのマニュアル

研修は、目の前の患者に生じた問題についてとりあえずどのように対処するのが適切なのかを考える、いわば「その場しのぎ」の連続とも言える。その場しのぎの蓄積が貴重な経験へと昇華するのだから、決して軽んじてはいけない。長年多くの先輩たちが読んできたエビデンスに基づいて書かれているマニュアルは、「その場しのぎ」の質を高めてくれる。

②「自分の判断は正しかったのか？」を座って勉強するための成書、総説

「その場しのぎ」だけで研修を過ごしていると、脳幹反射・瞬間芸だけの医師になってしまう。これを回避するためには、一日のうち短時間でも座って成書や総説を読む時間を作るべきである。この時間を作ることで、自分のその場しのぎの知識に学問的な深み加わる。ただし、医学情報の更新は恐

(2面につづく)

ました。私が初めて『Sabiston』を買ったのは外科医になって数年後でした。改訂のたびに後輩と「教科書勉強会」を行ったのが、今でも私の大きな財産です。

8 August 2018

新刊のご案内 医学書院

●本紙で紹介の和書のご注文・お問い合わせは、お近くの医書専門店または医学書院販売・PR部 ☎03-3817-5650
●医学書院ホームページ (http://www.igaku-shoin.co.jp) もご覧ください。

膝MRI
(第3版)

新津 守
B5 頁328 6,000円
[ISBN978-4-260-03613-3]

〈シリーズ ケアをひらく〉
異なり記念日

齋藤陽道
A5 頁240 2,000円
[ISBN978-4-260-03629-0]

看護教育学研究
発見・創造・証明の過程
実践・教育の質向上を目指す研究の方法論
(第3版)

舟島なをみ
B5 頁376 4,200円
[ISBN978-4-260-03664-1]

心臓・大動脈外科手術
基本・コツ・勘所

編集 小坂真一
B5 頁384 18,000円
[ISBN978-4-260-03200-1]

行動変容をうながす看護
患者の生きがいを支えるEASEプログラム

編集 岡美智代
B5 頁240 2,500円
[ISBN978-4-260-00106-9]

夏休み読書特集 医学生・研修医のための 医学書選びのマイルール

齊藤 裕之

山口大学医学部附属病院 総合診療部准教授



多読者となれ

ベッドサイドでの臨床教育や症例カンファレンスを通じて、学生や若手医師と一緒にClinical Question(以下、CQ)を解決する機会が多い。指導医として、「この本の、ここに書いてあるよ」とフットワーク軽く医学書を使いこなす能力は大切だと感じている。筆者は、常日頃から若手医師に「多読者となれ」と伝えている。今回は筆者の医学書の選び方をお伝えしてみたい。まず前提条件として、表紙や読者レビューをウェブ上で確認するのみで医学書を購入すると定期的に外れを引いてしまうため、なるべく避けたい。表紙の雰囲気で購入することは、恋愛と似ているところがある。「見た目が良いから、性格は度外視してあの人と付き合ってみよう」と言っているようなもので、少し危険な気がする。医学書は使ってなんぼ、診療に還元されてなんぼなので、自分で内容を確認し、使えそうだという実感を大切にしたい。また、一冊の医学書を購入する際、同じジャンル(例えば、感染症、膠原病など)の複数の書籍から比較して選定すると、自分が選んだ医学書に愛着が湧きやすくなる。「私の選んだ一冊」には特別感がある。そのため書店に通うことも良い方法だが、筆者は「医学書の祭典」のような雰囲気を感じられる日本内科学会総会の書籍展示スペースに足を運ぶことを楽しみにしている。同会場では、各出版社一押しの医学書が華々しく展示されており、さまざまなジャンルの医学書が勢ぞろいしている。複数の本を比較検討するには快適な空間になっており、そこで指導に使えそうな書籍を数時間かけて探すことが習慣となっている。書籍を選ぶとき、いくつかのルールを設定しておくとお気に入りの一冊を見つけやすい。例えば、筆者はCQを持って書籍を選定するようにしてい

(1面よりつづく)

ろしく速くなっている。成書の改訂が追い付かない時代になっている。電子媒体や信頼できる医学雑誌の総説論文も賢く活用することが求められる。
③医師としてのセンス、判断力を磨く
医学書を読むだけでは良い医療者になることはできない。実際の臨床では、「この症例では、このマニュアルのここを開けば答えが載っているよ」というような、問題解決のセンス(嗅覚のようなもの)を養うことが求められる。これには、センスの良い



●写真 医学書を提示しながら指導する日常(左から2番目が筆者)

る。CQの例として「ワルファリンの初回量と維持量の具体的なレジメが記載されているか?」、「心不全患者にACE阻害薬とβ遮断薬、どちらを先に投与すべきかの記載があるか?」、「各利尿薬の尿細管での作用機序が、イラストでわかりやすく図示されているか?」、「リウマチ性多発筋痛症の発症様式や疼痛部位など、疾患スク립トをイメージできるか?」などである。CQを持って内容を確認すると、書籍を選定する一定の判断基準ができる。例えばワルファリンの初回投与量は、具体的なレジメの記載がない書籍も意外とある。「どのような方法でも至適PT-INR 1.6~2.6をめざすと良い」と総論的な記載でお茶を濁されていると、研修医は「じゃあ、結局ワルファリンは何mgから始めたらいいのですか?」となる。確固たるエビデンスや決まった治療方針がなくとも、エキスパートオピニオンとしてCQに誠実に答える記載があれば、診療現場に役立つ書籍として好印象になる。また、CQの回答を5分以内に見つけられるか否かは、書籍の使いやすさの指標になる。研修医や指導医も、忙しい日々を過ごしており、書籍の1ページ目から最終ページまでを順に読んでいく時間は確保しづらい。日常診療でもCQが生まれたら、書籍を部分的に読みこなすことが多いため、「目次や索引からCQへの回答の導きやすさ」は書籍選びの大切な要素の一つとなっている。

*

若手医師には「多読者となれ」と繰り返し伝えているが、書籍を通じて多くの指導医の考え方に触れてもらえたらと思う。医学書を通じて可能性を広げよう。Enjoy!

先輩に張り付いて真似をすることが王道だが、同じようなことを文章で試みる医学書も増えてきている(日常診療で遭遇することが多い場面を想定して、考え方を述べている書籍)。優秀な医療者のセンス、判断力を知ることができるのは、新米料理人が一流料理人のレシピをいきなり目にできるのと同じで、本当にありがたいことである。

*

その場しのぎ、知識を深める、センスを磨くという3つの視点で医学書を選んでほしい。

上田 剛士

洛和会丸太町病院 救急・総合診療科部長



自分の立ち位置を把握して選択する

医学書を選ぶ際に書店に足を運ぶか、インターネットを用いるかは悩むところ。インターネットのメリットは購入に手間が掛からない、キーワード検索が容易、扱っている書籍数が多い、さまざまな書評が調べられることなどです。一方、自分の目で中身を確認することは「百聞は一見に如かず」であり、書店に足を運ぶ一番のメリットです。また、書店に並んでいるというフィルターが、目に入る書籍の質を担保してくれます。時間に余裕があればインターネットで吟味した上で書店に足を運ぶのも良いでしょう。同僚・先輩の机の上にある役立ちそうな書籍を見つけ出すのも有用な方法です。医学書は多数ありますが、万人向けの医学書は存在しません。個人的には「多い」「少ない」といった状況によって判断が異なるような記載ではなく、参考文献を示し「〇%」と明記している書籍が好きです。しかしそれ以上に、自分の立ち位置を把握して医学書を選択することが大切です。まずは基本力をつけたい場合です。この場合、知識のムラができるのは良くありません。読み切れる分量で、比較的歴史ある「定番の書籍」を選びます。これは「最近の売れ筋ランキング」から漏れる可能性があるため、先輩医師に聞いてみるのが良いでしょう。次に、読み物として楽しむ場合。もともと医学や臨床は面白くあるべき

市原 真

札幌厚生病院 病理診断科医長



「そもそも本が好きなのか?」を問い直す

私はつい先日まで、「医学部を出た人間は皆、書物が好きである」と決めつけていました。本が好きだから受験を通過したんだろう、くらいの勢いで、「嘘つけ、謙遜乙」くらいに受け流していました。でも、医学書を読まないタイプの医者は実際に多くいます。「医学書を読まなくても立派にやっていくタイプの医者」と書いてもいいです。本ってのは相性があるんですね。合う・合わないは、正義や悪とは違う

で、わざわざ堅苦しく表現する必要はありません。「あえて全てを網羅せず、勘所をトピックとして解説し、図表を多く用いたような書籍」は非常に読みやすく、抵抗なく頭に入ります。医学書の種類のうち、最も多く出版されているものだと思います。寝る前や移動時間中にも読める手軽さもウリです。これらは今まで熟知していなかった分野に対して新たな視点を与えてくれる書籍ですが、書き手と読み手の相性もあるため、自分にとっての良書を選び出すのは必ずしも容易ではありません。インターネットで購入する場合は口コミなどを参考にしますが、それでも「当たるも八卦、当たらぬも八卦」と思って購入するほうが良いかもしれません。また、奇抜さを求めて少し偏った見方で解説されていることもあります。読み手の知識が乏しい領域に対する記述には、妄信することなく楽しく読み進めてもらいたいと思います。

「知らないことを辞書的に調べる」場合は網羅的で信頼性が高いことが求められるので、世界的な名著がおすすめです。その分野の上司であれば必ず知っている書籍です。訳本の場合は、原文で新版が出版されていないかを確認するのが望ましいです。それ以外の書籍を選ぶならば、参考文献がしっかり記されていることが大事でしょう。章末にまとめて文献が紹介されているものではなく、どの文章がどの文献から引用されているのかを明記している書籍を選ぶべきです。

*

何度も読み直す基本力トレーニングの書籍、読み物として楽しむ書籍、調べもの用の信頼できる書籍をうまく使い分けて、楽しく実りある研修生活を送ってください。

概念です。このことを忘れて、医者は皆本好きであるという前提で医学生や研修医に教科書を薦めていた私は、ちょっと乱暴だったかな、と反省しています。出版社に依頼された原稿にこれを書く私の心根を疑われるでしょうが、正直な実感です。

時折、「論文ならともかく、本を読んで何か役に立つの?」みたいに、本好きハートを真っすぐ刺してくる人がいます。私はどちらかというところ「理路整然と自分に必要なことを選び取る人」のことが好きですが、同時に、こういう人にこそ多くの書籍を読んでもらいたくはないとも思いますので、真っすぐ刺してきた剣先を巻いてそらして突き返したい毎日です(剣道部)。

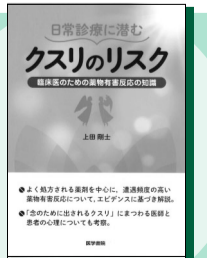
というわけで、「医学書を選ぶ方法」の第一歩は、「そもそもあなたは本が好きなのか?」を問い直すところから始まります。本が好きでたまらない人には改めて私から申し上げることはありません。例えばこの記事を読んだら

すべてのクスリには薬物有害反応のリスクが伴う。処方医こそ、クスリのリスクを知っておくべき!

日常診療に潜むクスリのリスク 臨床医のための薬物有害反応の知識

市販されている薬剤は実にたくさんあるが、一般臨床医がよく遭遇する薬剤と薬物有害反応の組み合わせには決まりがある。本書では、頻度の高い薬物有害反応を取り上げ、特によく処方される薬剤を中心にエビデンスに基づいてわかりやすく解説。また、薬物有害反応を頭では理解していても、医師や患者が「念のためのクスリ」を求めるとは稀ではないことから、薬物有害反応が減らない理由を心理学的な観点からも取り上げた。

上田剛士 洛和会丸太町病院 救急・総合診療科 部長



そうだったのか! 最新の論文をもとに気になる臨床上の疑問を解き明かす

外科医のためのエビデンス

気になる...でも、調べるのは大変。教科書やガイドラインでは解決できない臨床上の問題を以下の構成で解き明かす。【素朴な疑問】外科医が直面する臨床問題を提示→【基本事項】教科書的な知識や常識的な知見を要約→【医学的根拠】世界中の疫学研究や臨床研究をデータで紹介→【補足事項】関連する研究を補足→【筆者の意見】30年の臨床経験に基づく著者の見解→【疑問の解決】文献から得られた現時点での結論を明示!

安達洋祐 久留米大学教授・外科



夏休み読書特集

谷口 俊文

千葉大学医学部附属病院 感染症内科講師



医学書は自分への投資、まずは手に取り読みまくる

大学病院で医学生や研修医の指導を行っている中で気が付くことは、簡単に読める教科書が人気であることです。その中でも良書は存在するため、選び方のポイントはとても難しくなります。そこで私が医学生や研修医だった頃、どのような医学書を選んでいったのかを紹介します。

①エビデンスでは得られない「思考回路」を共有する医学書

対話形式の本などはこの中に入ると思います。成功談や研修医のよくある失敗をまとめているものもあります。こうした本は、論文ではなかなか得られないけれども重要な知識を簡単に与えてくれます。

②身体所見の取り方など「手技」をわかりやすく解説する医学書

英語のジャーナルでもウェブサイトでも手技を紹介するものがありますが、本に詳細が載っていることで、ちょっとしたコツなどを学習することができます。手技は実際にやってみないとわからないことも多いのですが、基本を頭の中に叩き込むには本での学習が良いでしょう。

③マニュアル系医学書

急変時や当直中で焦っているときに、治療や指示出しを日本語で間違わずにするのはひと苦労です。マニュアル系医学書で指示や投薬例などが掲載されているものは重宝します。

④メディカル・キュレーション系医学書

数多くのエビデンスが現代の医学を築いています。分野ごとに主要論文など

をまとめている本は、知識の整理に役立ちます。このような本は出版されたばかりでも情報が古いこともあります。そうした場合にはその本を時間軸の出発点として、新たな情報(エビデンス)を書き込むと良いでしょう。

どのような医学書に出会っても私が心掛けている大切なことは、内容を100%信じず、きちんと裏付け(エビデンス)を確認することです。「内容が間違っているかもしれないから」と医学書を読まなければ、自分が知らないことに出会えないので、やはり読みまくるしかありません。

逆に選ばないだろう医学書のルールを紹介します。

①引用文献がない医学書

ある程度は自分で裏付けをとっても良いと考えていますが、引用文献が全くなければ、さすがに選びません。

②専門家が書いていない医学書

医学書を書くことには専門性が要求されます。これには、さまざまな文献に精通していること、その分野の深い臨床経験、そしてその分野の研究活動の3つの柱が必要です。これらの融合として医学書が生まれてくるのだと思います。著者に3つの柱のどれかが欠けている場合は、その本を選びづらいです。

③日本の現状に合っていない医学書

日本で一般的でない検査や治療方針を「エビデンスがあるから正しい」と押し付けるような内容は、今の自分ならば選ばないでしょう。反対に、最新のエビデンスを紹介しつつも日本の現状を踏まえ、どのようにすべきか示してくれる本は「買い」です。

*

医学書は自分への投資です。医学書選びのマイルールは今だからこそ書けますが、医学生や研修医のときはたくさん本を買って、失敗も多くしてきました。気になる本があったらまずは手に取って見て、自分に合うかを判断するのが良いでしょう。



な」と思ったら、その演者の本を読む。さらにはその方が引用した本を読む。そうすると、本の1ページ目をめくったときに、「学会場でさっき聞いたばかりの音がページの中から聞こえてくるような読書体験」をすることができます。一度やるとハマります。本を目で追う作業に疲れてしまったら、本を耳で追いかける。これが、世の中にあふれる書籍の海から光るものを拾い上げる一つのコツだと思うのです。

*

そうそう、エッセイはほどほどに。

後、同じページに載っている某先生の名前を見つけて、そうだこの先生の本はまだ持っていない、とばかりに早速Amazonを巡回して2~3ポチポチしてしまうのが本好きのやることです。こういう人は放っておいても良い本を読みます。良かったらほくの本も買ってください。医学書院から出てるやつはよく売れているので、できれば他社のもお願いします。

では、本が別に好きでもない人に、私はどういう本をオススメするか? 王道の教科書から順番に読んでもらうか、装丁のきれいな本のとっつきやすさに賭けるか、電子版の値段が安いものを紹介するか。いろいろなやり方がありますが、私はよく「著者の声が聞こえてくる本を入口にせよ」と言っています。

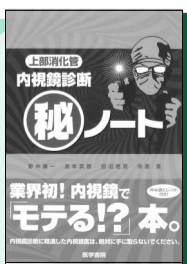
例えば、学会場で講演を聴いて「この人はすごいな。しゃべり方が上手だ

秘「モチpoint!」で、楽しく・効率よく上部消化管内視鏡診断をマスター!

上部消化管内視鏡診断(秘)ノート

著者らが10年かけて集めた「内視鏡診断のポイント」=「モチpoint!」を楽しい語り口調で軽快に解説! さらに、雑誌「胃と腸」(電子版)の秀逸な論文をQRコード付きで紹介することで、入門者も経験者も効率よく診断力をレベルアップできる、必読の1冊。本書を持てば、内視鏡マスターへの最短ルートが見えてくる! [Web袋とじ(付録)付き!]

野中康一 埼玉医科大学国際医療センター消化器内科准教授
濱本英剛 永山消化器・内視鏡内科 院長
田沼徳真 手稲会病院 消化器内科 部長
市原 真 札幌厚生病院 病理診断科 医長



医学書専門店 医学書販売店のご案内

(日本医書出版協会・認定書店一覧2017-2018)

医学、医療関連領域の書籍を発行する出版社で組織された日本医書出版協会(JMPA)では、下記書店を医学書の専門店・販売店として認定しております。

本協会認定証のある書店では、医学書・看護書に関する専門的知識をもった経験豊かな係員が皆様のご購入に際して、ご相談やお問い合わせに答えさせていただきます。医学書・看護書をご購入・ご検討の際はぜひご参考にしていただければ幸いです。

認定医学書専門店

*医学書専門店の全店舗(本・支店、営業所、外商部)が認定店です。

Table listing certified medical book specialty stores across various regions including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, and Kyushu.

認定医学書販売店

Table listing certified medical book sales stores across various regions including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, and Kyushu.

2017.12作成

JMPA 一般社団法人 日本医書出版協会
http://www.medbooks.or.jp
TEL (03)3818-0160 FAX (03)3818-0159

夏休み読書特集 医学生・研修医のための

ベッドサイド「漫画」ライブラリー



イラスト：近藤 慎太郎

臨床医学の父、ウィリアム・オスラー博士(1849~1919年)は、リベラル・アーツ(人間教育)の必要性を説き、医学生に就寝前30分間の読書を習慣付けるよう勧めました。オスラーは著書『平静の心』の中で、「医学生のためのベッドサイド・ライブラリー」として聖書やシェイクスピアなどを挙げています。今回はその現代版として、第一線で活躍する方々に、お気に入りの漫画へのアツイ思いを語っていただきました。たかが漫画と思うなかれ。その中には医師としての人間性形成に役立つヒントも隠れているはず！夏の夜を共に過ごす漫画選びの参考にしてください。

福武 敏夫

亀田メディカルセンター 神経内科部長・内科チェアマン



- 1 『猫楠——南方熊楠の生涯』水木しげる
2 『赤い雪——勝又進作品集』勝又進
3 『らんぶの下』一ノ関圭

1 テレビドラマ「ゲゲゲの女房」で国民的に認知され、『ゲゲゲの鬼太郎』など妖怪物を書きまくった水木しげるは3年前に93歳で亡くなった。その膨大な仕事は、京極夏彦らの監修により103巻の『水木しげるの漫画大全集』が最近刊行され終わった。私は月々の配本で全巻そろえてみたが、残念ながらまだごく一部しか読んでいない。

なぜ、水木しげるのかと言えば、妖怪ファンというわけではなく、十数年前にふと手に取って購入した『猫楠』がとても面白かったからである。これは、あの大怪人、南方熊楠(1867~1941年)の生涯を、水木しげるの代わりに「かわいい」というか「こまっしゃくれた」(猫楠と名付けられた)猫の目から見て描いた傑作である。今は全集の第80巻に他の「クマグスもの」と共に収録されている。南方熊楠のことは簡単にまとめられないので、文庫本の裏表紙に頼ると「没後半世紀以上を経て、なお、骨太で天衣無縫な……生涯は、人々の関心を惹きつけてやまない。日本が国際化とはまだほど遠かった明治時代中頃に英国に渡ると、『ネイチャー』誌に菌類や人類学などに関する論文を51報も寄稿し、大英博物館の嘱託員となり、孫文と親交を深めるなど八面六臂の大活躍。帰国後も民俗学や粘菌学の研究を行いつつ……熊野の森を守る運動の中心になるなど、時代の先を行く活動で世間を驚かせた」(下線は筆者)。その森の人の「脳力」と「妖力」を兼ね備えた生きざまはもちろん興味深い、時々挿入される猫楠のセリフがもっと面白い。冒頭で「バカは

人間の方だよ」と言い、熊楠往生の後には「わしは人間の幸福の観察者として大昔から人間にまじって暮らしている猫だ」と。

水木しげるは他にも紹介しきれないほど素晴らしい作品を残している。中でも左腕を失うことになった戦争体験を描いた『総員玉碎せよ!』とか『コミック昭和史』とか『劇画ヒットラー』とかは必読文献と言いたい。なお、「水木」というペンネームは戦後の一時期、神戸市の水木通に住んでいたことに由来するが、驚いたことにそこは私の中学校への通学路であった。2 勝又進は私と同時代の人であるばかりか、ある時期、埼玉県に進学塾と一緒に講師をしていた縁がある。東京教育大学(筑波大学の前身)で物理学を学んでいた頃の学内の騒然とした雰囲気の中で、ひょうひょうとしたノンボリの目から見た4コマ漫画で雑誌『ガロ』にデビューし、その後は自然と人間に優しい目で接する短編をいくつも描いた。もうその作品はなかなか入手しにくい、『赤い雪』は水木しげるに「オモチロイ」と言わせ、つげ義春に「劇画を見る目が、きっと変わるはず」と言わしめた作品集で、2006年に第35回日本漫画家協会賞大賞を受賞している。

3 一ノ関圭は女性とのことであるが、素顔は不明の寡作の漫画家である。東京藝術大学油絵科卒で、在学中に投稿した短編『らんぶの下』が第14回ビッグコミック賞を受賞している。江戸・明治時代を舞台に、歴史の波に埋もれた人物の懸命な生きざまを描く骨太な作風が特徴であり、画力が極めて高い。入手できる『らんぶの下』は短編集であり、その中の「女傑往来」は荻野吟子に続いて日本で3番目に女医になった高橋瑞子が医師になるまでを新聞記者の目を通して見たものであ



近藤 慎太郎

医師/漫画家



- 1 『風の谷のナウシカ』宮崎駿
2 『アクシデンツ——事故調クジラ的事件簿』山田貴敏
3 『ヨルとネル』施川ユウキ

1 ご存じ、映画「風の谷のナウシカ」の原作です。こちらでは、トルメキア王国と土鬼(ドルク)という、2つの大国の覇権争いが物語の軸になります。そこに小国や腐海に生きる人々の思惑、王蟲(オーム)や腐海の謎などが絡み合います。まず、この複雑かつ精緻な構成に脱帽です。

そして、おれることなく全体を貫くのは、「人はどう生きるべきか?」という普遍的なテーマです。そこに真正面からぶつかっています。映画も十分素晴らしいですが、原作ではさらに豊饒な世界が広がっているのです。

最終巻、長い旅路の果てにナウシカは腐海や人間の秘密にたどり着き、とある勢力と対峙します。彼らの主張にも一分の理があります。ナウシカはどのような選択をするのでしょうか?

美しい、きれいなものばかりではなく、醜さ、愚かさも併せ持った混沌が人間なんだ。そんなふうに見える作品です。

2 『Dr. コトー診療所』で有名な作者の作品です。政府の特命を担う主人公が、不可解な事故や現象について、わずかな手掛かりを元に、地道な捜査で真相にたどり着く、という物語です。安易な結論に流れない主人公の姿勢は、見習うべきものがあります。

り、医師になってからのことは「女傑走る」として『裸のお百』に収録されている。その後の作品集である『茶箱広重』や『鼻紙写楽』も秀逸である。漫画も小説同様に玉石混淆だが、ひ

試験では、唯一の正解を素早く見つけることが要求されます。しかし働けばわかる通り、世の中には正解がないことも多々あり、どちらかと言えば粘り強く最適解を見いだそうとする姿勢が必要です。今まで培ってきた能力があまり通用しなくなったそのときに、わからないこと、白黒つかないことを恐れたり、憎んだりしないようにしましょう。暫定的な判断は都度必要ですが、たとえ時間がかかったとしても、最適解に肉薄する感覚と喜びを身につけましょう。

3 政府の人体実験により、身長が11cmになってしまったヨルとネル。自由を求めて脱出し、海をめざします。体裁は4コマギャグですが、その道中は苦難の連続です。終盤には衝撃的な事実が判明します。しかし、それでも前へ進もうとするヨルとネル。ユーモアとリリズムの融合が見事です。

誰しも最終的には死を迎えます。それを単なるパッドエンドにしないためには、生きてきたかいたがあったと思えるような「何か」を見つける以外にないでしょう。二人のように。

人はパンのみにて生きるものにあらず。自分もそうだし、他者もそれをめざしているということを理解し、尊重することが大切です。

ちなみに私は最近、『医者がマンガで教える 日本一まっとうながん検診の受け方、使い方』という本を出版しました。がん検診のウラもオモテも全て解説しています。ぜひご一読いただければ幸いです。



手と目で「見る」とはどういうことか。

＜シリーズ ケアをひらく＞ 異なり記念日

「聞こえる家族」に生まれたる者との僕と、「ろく家族」に生まれたる者との妻。ふたりの間に、聞こえる子どもがやってきた！ 身体と文化を異にする3人は、言葉の前にまなざしを交わし、慰めの前に手触りを送る。見る、聞く、話す、触れることの「喜び」とともに。ケアが発生する現場からの感動的な実況報告。

齋藤陽道



「学ぶ」EBMから、「使う」EBMへ

内科診療 ストロング・エビデンス

週刊医学界新聞の好評連載「レジデントのためのEvidence Based Clinical Practice」をグレードアップして書籍化。新進気鋭の米国内科専門医が、コモン・ディゾーズの標準治療と、その根拠を支える重要な臨床研究を紹介する。「すべての医療行為はエビデンスに基づいた標準治療を理解していることから始まる」(本書序文より)。米国内科診療アプローチの真髄がここに!

谷口俊文 千葉大学医学部附属病院感染症内科講師



今村 弥生

杏林大学医学部
精神神経科学教室助教

- ①『NARUTO 一ナルト』岸本斉史
- ②『鋼の錬金術師』荒川弘
- ③『魔人探偵脳噛ネウロ』松井優征

*

現在の日本の漫画はアートであり、熟練した医師の診療もまたアートによって構成されるものです。私は何千、何万人という読者によって購入される人気の高い漫画の中には、今を生きる人が求める哲学が内包されていると考えて、精神病跡学的手法を使って研究しています。その中の3作品を推薦します。

①ジャージとサンダル姿の忍者と、近未来と昭和レトロが入り混じったような独特の背景は、絵としても魅力的で、多面的な作品ながら「愛と許し」が中心テーマになっているのが特異的・感動的で、海外でも評価が高いゆえんと思われまふ。上級忍者と見習いが3〜4人組で任務に当たる姿は、研修医数人と指導医の医療チームを投影して見ることもできます。学び、教え、社会全体を考え、成長していく若い忍者の姿はまさに医師のプロフェッショナルリズムではないでしょうか？ 全72巻を休日3日で読み切ってしまう、危うく褥瘡ができるかと思いました。

②非常に完成度の高い作品で、政治と戦争、生命倫理、エディプス・コンプレックス、政治と戦争などの重厚なテーマが、よく描きこまれた登場人物

によって表現されており、人が背負う「七つの大罪」について問答されている作品と考えています。不死の苦しみを背負った登場人物が、長い長い対話によって理不尽に死んだ人々の魂を理解し、贖罪を得るくだりは仕事柄、感銘を受けました。本作の主題が、強さの獲得ではなく、当たり前前の生活に戻るという平凡への回帰であるのは、現在人の願いを反映しているのでしょうか。就寝前に読み始めると入眠困難は必至の名作。

③何人かの知人から薦められ、試しにと読み始めたら、一晩で一気に全23巻を読み切り、「一番好きな漫画は？」と聞かれたら、この作品を挙げます。漫画とは本当の世界の真実を伝えるための嘘(ファンタジー)だとしたら、この作品の“謎”を食べるということは、こころ満たすということ、そして最後の主人公の行動は聖書にある「自らの命を愛する者はそれを失い、手放す者はそれを得る」というメッセージというのが、私の解釈です。この作品のパワーに背中を押されて、職場を異動したストレスもやり過ごすことができ、今度は私が別の友人たちに本作を薦め、全巻大人買いさせる散財の連鎖を生む魔力を帯びた作品です。

この夏に読んだ漫画が、皆さんをちょっと個性的で味わい深い医師に近づけてくれるかもしれません。



©松井優征 集英社

忽那 賢志

国立国際医療研究センター
国際感染症センター
国際感染症対策室医長

- ①『ぼくち』西原理恵子
- ②『喧嘩商売』木多康昭
- ③『とめはねっ!——鈴里高校書道部』河合克敏

*

①山と海しかない小さな町で、母親に捨てられた貧しい3人の姉弟がたくましく生きていく物語である。水商売をして第2人を養う姉、それに嫌気が差して家を出てトルエンを売る兄・一太、アル中で娘に暴力を振るい続け最終的にヤク中で死ぬおちちゃんのお父さん、店のお姉さんの借金を背負わされ夜逃げするソーブランドのボーイ、万引きした息子のせいで家を燃やされる末吉おっさん……。なんとというか、かわいらしい絵柄とは正反対の凄惨な世界である。しかし、それでもこの最低な世界を笑い飛ばす西原理恵子のユーモアのセンスや、この物語の根底に流れる家族愛が、このマンガを笑って泣ける唯一無二なものにしている。“くつな文学賞”20年連続受賞作品。

②木多康昭がここまで面白いマンガを描けるとは誰が予想していたらうか。初期の作品『幕張』が全く面白くなかった私としては驚きの展開である。



萩野 昇

帝京大学
ちば総合医療センター
第三内科学講座講師

- ①『さよならタマちゃん』武田一義
- ②『サトコとナダ』ユベチカ・著、西森マリー・監修
- ③『弟の夫』田亀源五郎

*

千葉県市原市を本拠地としてリウマチ・膠原病の診療に従事していますが、近年は山梨県甲府市や福島県いわき市にも定期的にお伺いしています。電車での移動距離が長く、外来で一日聞いて喋った後の帰路はいつもぐったりですが、神経が高ぶって眠れないことがほとんどです。そんなときには漫画を読んでいます。電子書籍のフォーマットで読むことが多いので、満遍なく目配せが行き届いたリストではありませんが、読んでいてある種の「照り返し」を得た漫画をご紹介します。編集室からの依頼は「3冊」ということでしたので、とりあえず上記3冊を挙げておいて、以下で派生させます。

①闘病記を読む

医師にとっての日常が患者さんやそのご家族にとっての非日常であることは、何度も何度も思い起こさなければなりません。『さよならタマちゃん』は、作者が漫画家アシスタントとして勤務している最中に罹患した精巣腫瘍の闘病記です。筆者は抗がん薬による味覚障害がこれほどつらいものとは知らず、はっとさせられました¹⁾。

同じく(家族の視点からの)闘病記として『天国ニヨーボ』(須賀原洋行)があります。医療従事者として、どのような振る舞いが患者さんやご家族に不安や不信感を与えるのかを知るための、良い素材だと思います(耳の痛い指摘も多い)。『なんびょうにつき』(さとうみゆき)は成人スティル病の闘病記ですが、筆者に『ロジックで進めるリウマチ・膠原病診療』の元となる連載を思い立たせたきっかけです。『入院ノート』(火村正紀)は切ない。

②人生の追体験

漫画の圧倒的な強みは、登場人物の人生を「追体験」したかのような経験が得られることではないかと思えます。もちろん、それが「漫画読書体験」の全てではないですが、有限の人生で多忙な生活を送る医師が「聞く幅」を増やすために漫画は有用です²⁾。『サ

トコとナダ』は、米国に留学した日本人のサトコとムスリムであるサウジアラビア出身のナダのルームシェア生活を4コマ連作でつづった、学ぶべきことの多い佳品です。礼拝、ヒジャブ、一夫多妻制など「不自由」に見えるムスリムの習慣は、本当に不自由なのでしょうか？ 不自由なのは一見「自由」な日本人では？

その他、堀江貴文(ホリエモン)が激賞する『闇金ウシジマくん』(真鍋昌平)³⁾や、漫画で政府批判を行ったために作者が日本への亡命に追い込まれた『マンガで読む嘘つき中国共産党』(辣椒)などは、得難い「人生の追体験」を与えてくれます。

③家族のかたちを考える

目の前の患者さんと対峙するとき、必ず「家族」の像がその向こうに見えてきますが、家族のかたちは急速に多様化しています。『弟の夫』はNHKのドラマにもなった作品で、ある日「弟と同性婚をした」というカナダ人・マイクが家を訪ねてくる話。主人公の心の揺らぎが「ちょっとした表情の推移」に描き分けられているところに作者の超絶技巧を感じます⁴⁾。

その他、『お母さん二人いてもいい

ただ、格闘部分は文句なく面白いんだが、途中にちょいちょい『幕張』のなしょうもないギャグパートが入ってくる。主人公が金剛や煉獄といった必殺技を覚えると物語はどんどん加速し始めるのだが、そこにもつまらないギャグが容赦なく打ち込まれてくるので「もうギャグはいいからさっさと話を進めろや!!」と激キレしたくなる。だが物語の後半からは空気を読んだのか、あるいは筆者自身が物語に没入しているのか、ギャグが一切入らないひたすら面白い格闘マンガに覚醒し、『週刊ヤングマガジン』連載中の続編『喧嘩稼業』もこのテンションを維持したまま超絶爆走中である。

③『帯をギュッとね!』『モンキーターン』の河合克敏の最新作が「書道」って聞いて、正直「うわ〜……つまんなそう……」って思った私でした。

帰国子女の主人公が無理やり書道部に入らされ、徐々に書道の魅力に引き込まれながら楽しい脇役たちと部活動をやっていくだけの話。言ってしまうとこれだけのマンガなんですけど……これが面白いんだな。書道の歴史やら各書体の解説やらも丁寧なので書道自体を学ぶ機会にもなるし、実際の書が劇中に使われていてすごいカッコいい。そして、いかにも書道と相性が悪そうなラブコメ要素が各所にちりばめられており、甘酸っぱいんだなコレが。書の甲子園に投稿するために悩みながらも作品を書き上げた主人公の書が本当に素晴らしくて、おっちゃん、マジ泣きしちゃったよ……。

マンガは最高の息抜きでもあるし、医師としての深みにもつながる最良の友です。仕事に疲れたらマンガを読んで英気を養いましょう!

かな!?) (中村キヨ〈中村珍〉)、『夜廻り猫』(深谷かほる)、『ど根性ガエルの娘』(大月悠祐子)、『毎日かあさん』(西原理恵子)などもお薦めです。

上に紹介した以外にも、ほんのひとコマの描写が「前に進む糧」となる漫画が多数あります。メッセージに代えて、紹介しきれなかった漫画から、愛すべき登場人物のセリフを引用します。筆者の臨床現場で、心の杖になっているセリフです。

「要するにだ オレが思うに人類最大にして最強の敵は“めんどくさい”だ」——『グリーンヒル』(古谷実)

「わるいコトから覚えていく どうでもいいコトから身についてゆく」——『湾岸 MIDNIGHT』(楠みちはる)

●Huggy's Memo

- 1) 同じ作者による『ベリリユー——楽園のゲルニカ』。この人は「この絵」で何という物語を描くのだろうか! 傑作の予感(未完)。
- 2) より良く「聞く」ためには、単なる相づちや共感の表明(「おつらいですね」)以上の知識とスキルが必要です。
- 3) この漫画の随所で描かれる「街の遠景」に作者の技量を感じる。主人公は丑嶋馨(ウシジマくん)ではなく、この街。
- 4) マイク役として把握度が配役された時点でドラマの成功は決まっていた。

リウマチ内科の若きリーダーが診療の基本ロジックを開陳!

ロジックで進める
リウマチ・膠原病診療

すぐれた若手リウマチ内科医・指導医として知られる著者が、その診療ロジックを惜しげもなく開陳した。プライマリ・ケアの場一般医は、リウマチ・膠原病を「どう疑い」「どう追いつめる」べきなのか、治療薬を「何をもとに決定し、どう使用するのか」などの診療の基本を、著者ならではのロジック(思考経路)をもってわかりやすく示した。すべてのプライマリ・ケア医が読むべき「通読できるリウマチ・膠原病の教科書」の登場。

萩野 昇

帝京大学ちば総合医療センター第三内科学講座
(血液・リウマチ)

産婦人科医の「困った」を解決する信頼のポケットマニュアル、待望の改訂!

産婦人科ベッドサイドマニュアル 第7版

初版以来27年にわたり圧倒的信頼を得てきた、ポケットサイズの産婦人科最強ベッドサイドマニュアル第7版。構成新たに123テーマを明快解説。「再発卵巣癌に対する化学療法」「遺伝性腫瘍」「AMHの測定意義」「不妊症における子宮内膜症の治療」「女性アスリート診療の留意点」「骨盤臓器脱」「脂質異常症」など新規掲載項目も多数。外来で。ベッドサイドで。産婦人科の「困った」「わからない」にはこの1冊が効きます!

編集 青野敏博
徳島大学名誉教授、徳島大学学長(第11代)
荻原 稔
徳島大学教授・産科婦人科学分野

Medical Library

書評・新刊案内

薬剤師レジデントマニュアル 第2版

橋田 亨, 西岡 弘晶 ● 編

B6変型・頁426
定価:本体3,400円+税 医学書院
ISBN978-4-260-03263-6

薬剤師国家試験に合格し、薬剤師として意気揚々と入職する。しかし、初日から「えっ、わからない?」「何だったっけ?」「実習中にやったかも、で、駄目だ!!」と、新人薬剤師は戸惑い、冷や汗をかきながら日々を送っていることでしょうか。皆通る道であり、誰にも避けることはできません。しかし、本書『薬剤師レジデントマニュアル 第2版』があれば、少しでも効率的に問題を解決し、冷や汗の量も減るのでないでしょうか。

本書は、前半に薬剤師業務の基礎となる項目を、後半には病棟業務中央業務で役立つ知識が章立てられています。当院の薬剤師レジデントは本書について「基本的な薬物治療が述べられているので、特に苦手な分野の導入として良い。『薬剤師による薬学的ケア』の項目は、薬剤師ならではの視点が盛り込まれている。副作用とその対処法が併記されているので治療への介入の手助けになる。『処方提案のポイント』を参考にすることで、治療におけるピットフォールに気付くことができる。処方提案のポイントは簡単すぎる感じがするが、自分で深く調べるきっかけになる」など、現場で頻回に使用する医薬品が掲載されていて便利との意見が挙がりました。一方、指導的な立場

評者 石井 伊都子
千葉大病院薬剤部部長・教授

にある中堅薬剤師からは、「ベースに加え少し発展的なところも記載されているため、新人がポイントをつかみやすい。指導する側も本書をチェックすることもポイントの抜けがなくなる。疾患ごとの章は、症例や薬学的ケアの解説も盛り込まれていて、ポケットサイズの判型から想像する以上に内容が充実している。病棟で持ち歩いてほしい。医薬品の使用方法に関しては、現場で汎用されている例も盛り込まれており、より実践的である」との意見をもらいました。

このところ、病院では新人薬剤師に対してレジデント制度を導入する施設が増えていきます。各施設はそれぞれ頭を悩ませながらプログラムを組み、いかに新人薬剤師が的確に業務を理解し、少しでも早く一人前の薬剤師として業務に取り組めるようにするかを常に考えていることなのでしょう。それには、基本的なテキストが必要です。本書は、網羅的でありかつ処方の実例を含め実践的に記載されているため、新人薬剤師にとってうってつけのテキストです。新人は新人でも薬剤師であって学生ではありません。「新人の基本の書」として本書をポケットに忍ばせ、これまでより大きく深い一歩を踏み出していただきたいと思います。

救急レジデントマニュアル 第6版

堀 進悟 ● 監修
佐々木 淳一 ● 編

B6変型・頁594
定価:本体4,800円+税 医学書院
ISBN978-4-260-03539-2

『救急レジデントマニュアル』が5年ぶりに改訂されたのでご紹介したい。本書は、慶大病院救急部初代教授の相川直樹先生が初版を刊行され、堀進悟教授、そして佐々木淳一教授と、3代30年に及ぶ、慶大救急医学の経験と英知が凝縮されたマニュアルである。日本の救急医学を臨床面のみでなく、研究面においてもリードしてきた、あの慶大救急医学の歴々が総力を挙げて執筆しているからこそ、エビデンスに基づいた格調高い教科書となっている。

本書は、ポケットサイズでありながら550ページを越す情報量がある。内

評者 高橋 毅
国立病院機構熊本医療センター院長

容は、全10章に分かれており、まずレジデントの諸君が救急診療を行う際の心構えと基本的な診察法に始まり、次にERでよく経験する症候や疾患について、「鑑別・診断の進め方」「重症度の判定」「救急処置」などが、表やイラストを多用してわかりやすく親切に解説される。また、慶大が得意としている「外傷・熱傷」「中毒」に関しては、新たに章を立てて詳述している。さらに、マイナー診療科を含む各科救急疾患についても網羅し、救急関連の処置や検査については、使用する器具、手順、ピットフォールまで丁寧に解説してい

異常値の出るメカニズム 第7版

河合 忠 ● 監修
山田 俊幸, 本田 孝行 ● 編

B5・頁304
定価:本体6,000円+税
ISBN978-4-260-03240-7

評者 前川 真人
浜松医大教授・臨床検査医学

異常値の出るメカニズム、何と興味を引くタイトルかと思う。1985年に初版が出たとき、「おっ、待ってました」と購入したことを覚えている。たしか、河合忠先生が『medicina』という月刊誌に書かれていたのを元に書籍にとりまとめられたものであった。月刊誌は読んでいたので、書籍になって本当にありがたかった。なぜなら臨床検査を現象として記載している書籍は他にもあったが、本書のように「なぜ異常になるのか、どういうメカニズムで異常値になっているのか、その背景にはどんな病態があるのか」などの疑問に答えてくれる書籍は、本書が初めてではなかったかと思う。そして、今でも他書にはない特徴を引き継いでいるのがわかる。現在は河合先生が監修を、山田俊幸先生、本田孝行先生が編集を担当されている。臨床検査専門医として、臨床検査医学の研究者であり教育者であるお二人が、時代に即した改変を加えつつ、初版のスコープをそのまま維持し、拡張させていると思える。

初版が出てから30年を過ぎ、臨床検査もずいぶん変わった。技術の進歩による精度の向上、高感度化により、測定値がますます収束して、病態による微細な変化もとらえられるようになった。また、バイオマーカーという、病態よりも即病気を反映するような検査項目も開発されてきた。この臨床検査の進歩に追従するように、本書で扱う検査項目も増えてきている。そして、以前の版に比べて構成が少し変化している。すなわち、各章で検査群を扱っているが、その中で「総論」、「基本検査」

「基本検査に準ずる検査」と分け書き込んでいる。これは、検査を段階的に進めていく診療上の検査依頼も意識してのことであろう。さらに、その章の中で、高頻度に測定するコアとなる検査項目が扱われている。まずは、基本検査に記載の検査項目を理解した後に、基本検査に準ずる検査に進めていくことが、診療でも学習でも必要である。

診療でも学習でも一層使いやすい構成となった改訂版



これだけの内容を伝統のある『異常値の出るメカニズム』という比較的コンパクトな書籍にまとめるのは、大変なご苦労をされていると思う。ほほどのページにも図表が掲載されており、特に図が多いのが本書の特徴でもある。表には情報を詰め込みやすいが、図はイメージすることができ理解を助けてくれる。作る側から考えると図を作るほうが大変なので、読み手からするとぜいたくな書籍と言えよう。

一つだけ注文を出させてもらえるなら、検査項目が増えすぎて、詳細なメカニズムまで触れにくくなっている。ページが許せば、細胞内での転写因子が遺伝子の制御領域に結合するところから説明するものもあってもよいかもしれない。

ともあれ、各検査領域のエキスパートが渾身の力を込めて執筆された『異常値の出るメカニズム 第7版』、ぜひ一読いただきたい。特に医師や臨床検査技師をめざしている方、既に働き始めている若い方々ばかりでなく、臨床検査に興味がある各種医療関連の職種および学生にもお薦めする。

最終章では脳死や災害医療、医療安全、感染対策などにも触れてあり、もはやその射程はマニュアルを超えた広がりを持っている。

評者が本書を手にして最も感動した言葉は、第1章の1行目だった。最後まで読み終わった後、もう一度読み返してみたいと思ったのも、やはり第1章だった。そこには「レジデントの心構え」と称して、身だしなみ、態度と言葉使い、患者・家族への対応などが書かれている。この部分を読んで評者は、「救急蘇生や手技を勉強する以前に、救急搬送された患者や家族を思いやる気持ちが最も大切で、それが欠如した者は、救急医療に携わる資格がない」というメッセージを受け取った。

なぜなら、慶大病院救急部は、創立時からこの理念を貫き通してきたからである。

23年前、評者が救急業務実地修練で上京した折、指導を担当してくれた若い慶應ボーイを思い出した。彼は清潔な白衣に身を包み、キリッとネクタイを締め、救急患者に紳士的に寄り添い、この心構えをすでに実践していた。その彼が編集した書籍だからこそ、この第1章のあの1行目を堂々と明記することが許されるのである。救急医療を志す諸君には、ぜひ本書を愛読していただき、救急診療の具体的な手技やポイントのみならず、慶大救急医学に連綿と受け継がれるその神髄も味わってほしい。

医学書院 セミナーのご案内

詳しくは、弊社セミナーサイトをご覧ください ▶ <https://seminar.igaku-shoin.co.jp/>

「標準PTOTST別巻シリーズ」刊行記念セミナー リハビリテーションに活かす! 脳画像の読みかた

脳画像が臨床に役立つことは知っていても、どのように読めばよいかかわからない方は多いのではないのでしょうか。本セミナーは、所見の背景にあるメカニズムから丁寧に画像を読み解くことにより、画像の白黒の暗記とは一線を画した「臨床に活かす脳画像の読みかた」を紹介します。

Program(予定)
13:30~15:10 各脳スライスレベルの見極めかたとその特徴
15:20~17:00 脳血管障害の画像の変化

※標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学 別巻『脳画像』(医学書院刊)を指定テキストとしたセミナーです。講義に使用しますので、事前にご用意ください。(当日、会場でもご購入いただけます)

日時: 2018年9月29日(土) 13:30~17:00
会場: 医学書院 本社2階(東京都文京区)
定員: 70名
講師: 前田眞治 先生
受講料: 6,000円(税込)
対象: PT、OT、STおよびその教員、「脳画像」の見方について学びたい医療関係者の方

前田先生による紹介動画はこちら!



標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学 別巻

脳画像

執筆 前田眞治

リハビリテーションに関わる医療職に必要な脳画像の見かたをやさしく解説

B5 頁176 2017年
定価: 本体3,500円+税 [ISBN978-4-260-03250-6]



《ジェネラリストBOOKS》

外来でよく診る

病気ストレスな症例への生活処方箋

エビデンスとバリューに基づく対応策

浦島 充佳 ● 著

A5・頁212
定価:本体3,600円+税 医学書院
ISBN978-4-260-03593-4

「Value-based Medicine (VBM) とは何か?」この本を手にとった方はまずこの疑問を持たれることだろう。そもそも著者は、EBM (科学的根拠に基づく医学)の大家であり、「いかにしてエビデンスを作り、利用するか」を著した書籍や、その基本となる臨床統計学の教科書など、多数のEBM関連著書を出版している。

一見、エビデンス (科学的根拠) とバリュー (価値観) では正反対の概念のように思われる。とうとうEBMに愛想を尽かしてVBMに寝返ったのかなと言うと然にあらさず。この本を読むとVBMはしっかりしたEBMの基盤の上に成立することがよくわかる。「治

日常診療で使えるVBM (価値に基づく医療)の指南書

【評者】 今村 英仁
公益財団法人慈愛会理事長

療”の際にはEBMが大きな力を発揮する。“予防”の際もエビデンスはしっかりと蓄積されてきている。ただ、「馬を水辺に連れていくことはできても、水を飲ませることはできない」。エビデンスを振りかざしてもなかなか実行してもらえないのが予防の世界である。そこで出てくるのがVBMである。

この著書は、How to make Value からHow to use ValueまでVBMとは何かを理解し、さらに実行するための教科書にして実用書である。著者自身の体験を踏まえているのでより説得力が高い。後は、ぜひ本書を読み下してやさしく「水を飲んでもらう」ようにしていただきたい。

よくわかる血液内科

萩原 将太郎 ● 著

A5・頁284
定価:本体3,800円+税 医学書院
ISBN978-4-260-03207-0

本書の著者は、私の初期研修病院の先輩である萩原将太郎先生である。同院では在籍期間が重ならず、直接のご指導は受けなかったが、武勇伝はいくつも伺ったことがあった。萩原先生が内地に戻られて少し経った頃からであろうか、今に至るまでご指導ご厚誼をいただいている。

本書は、専門家として、内科医として、そして教育者として、そのどれもで超一流であり、何より努力家である萩原先生の真骨頂とも言える魅力に溢れている。専門家としての側面は、さまざまな疾患や病態の機序を基礎医学の面からもわかりやすく解説されている点、最新の診断基準が豊富に記載されている点などに垣間見ることができる。内科医としての側面は、症例の身体所見で腱反射などの神経学的診察、IV音、IIP亢進、眼底所見などを記載

血液疾患の初期対応力up! 専門医に適切につなげられる

【評者】 本郷 偉元
関東労災病院感染症内科部長

している点、p.105の「もちろん結核は常に除外すべき疾患です!」というコメントやp.184にランセット状のグラム陽性双球菌である肺炎球菌の略痰グラム染色写真を載せている点などからもにじみ出てくる。教育者としての側面は、解説がクリアカットで教わる側の立場を大事にしている点、末梢血塗抹を医師が実際に見ることの重要性を強調していること、症例の解説で思考経路を的確に示していることなどから伝わってくる。

「クリニカルパール」にはまさにパールがコンパクトにまとめられている。コラム、サイドメモには、教えてもらわないと気付かないこと、今さら聞けないことなどがさらりと述べられている。

本書は、医学誌『JIM』『総合診療』に2年間連載された内容と、有名研修

医療勤務環境改善に向けた次の一手は

2014年の医療法改正で、医療機関の勤務環境改善に関する規定が施行された。これを受け各医療機関では、計画的に勤務環境改善に取り組む「医療勤務環境改善マネジメントシステム」が導入されている。働き方改革が社会的関心を集める中、医療機関は改善に向けた戦略をどう練ればよいか。7月21日に日本看護協会JNAホール(東京都渋谷区)で開催された医療勤務環境改善マネジメントシステム研究会(会長=大原記念労働科学研究所・酒井一博氏)の第2回シンポジウムでは、「より良い医療勤務環境を目指すための新戦略」をテーマに、各施設の好事例から勤務環境改善に向けた「次の一手」が議論された。



●総合討論の様相

◆ICTの有効活用で組織的な改善を

第II部パネルディスカッション(コーディネーター=東京家政大・野原理子氏、パラマウントベッド株式会社・坂本郁夫氏)で最初に発表した有限責任監査法人トーマツの根本大介氏は、作業自動化のためのテクノロジー(Robotic Process Automation: RPA)導入により医療機関の事務業務を効率化した事例を報告した。医療機関には電子カルテをはじめ部門ごとのシステムが多数存在し、中規模病院で50種類ほど、大規模病院では70種類以上に上る。事務担当者が各システムからの情報を定型の文書に転記する膨大な作業が、RPA導入で24時間自動打ち込みが可能になったという。単純作業の軽減の他、入力ミス防止にも役立っているとの利用者の声を紹介した。

病院管理者の立場から発表したのは等潤病院の伊藤雅史氏。2007年に理事長に就任した際、「マネジメント不在」の現場に危機感を抱いた氏は、経営基盤の強化には勤務環境改善が急務と考え、医療ICTの導入に積極的に投資してきた。セキュリティを強化しつつ利便性を追求したネットワークの構築、患者利用者情報の他施設間での共有などを次々に実施。「医療サービスを拡充することが、シームレスなケアと患者確保・定着を実現する」と述べ、ICTへの投資は「臨床の求心力、ブランドの強化にもつながる」との見解を示した。

看護管理が専門の小池智子氏(慶大)は、勤務環境改善に「Nudge」の視点を取り入れることを提案した。Nudgeとは、人々に強制することなくより良い行動を促す行動経済学の理論に基づいたアプローチ。自発的に残業しなくなるよう、ノー残業手当の創設や年間有給休暇取得の早期計画、会議を立てて行い時間短縮を図るなど、人間の行動と意思決定の特徴を分析した勤務環境改善のアイデアを披露した。

日本各地で高齢者施設や療養病床を運営する湖山医療福祉グループ代表の湖山泰成氏は、介護現場の課題として、①不十分な教育制度、②医療側の介護に対する無関心の2点を指摘。「介護の世界には医療の光を当てなければならない」と語り、経験豊富な看護師が介護現場の管理者となって教育や組織作りにも携わることに期待を示した。

同研究会会長の酒井氏は、「医療勤務環境改善」「働き方改革」「過労死等防止対策」が2013年以降並行して進んでいると考察し、今後は3つを横断した取り組みの推進が重要になると強調した。さらに氏は、ICTの整備に着目し、患者情報共有システムの構築による「疲弊しないシステムづくり」や、女性医師の子育て後の職場復帰を促すeラーニングやシミュレーション教育の普及など、テクノロジーの活用による勤務環境改善を呼び掛けた。

病院で総合診療科の若手医師を対象に5年間にわたり行われた特別講義録をまとめ、書き直されたものとのことである。萩原先生のこのような集積を1冊の本で読むことができるとは、読者は何と僥倖なことであろうか。

血液疾患の症例集として、血液病態生理や各種診断基準を参照する本として、若手医師に血液内科を教育する際の参考として、総合診療医や一般内科医のテキストとして、この本は大変優れているであろう。血液内科が得意な医師であれば、一言ひと言かみしめて

読まれるとよいだろう。この本を読めば、血液内科に対する理解が深まり、鑑別診断が広くかつ深くになり、血液疾患に対する初期対応能力が増し、適切に専門医につなぐことができるようになるであろう。そして、これらのことができるようになるからこそ、患者さんや患者さんの家族にわかりやすい説明をすることができるようになるだろう。ジェネラルマインドを大切にしている全ての医師、研修医、血液検査技師などに特にお薦めの本である。

MEDSiの雑誌最新号が発売!

患者全体を見すえた 内科診療のスタンダードを創る

ホスピタリスト Hospitalist Vol.6 No.2 2018

特集 糖尿病

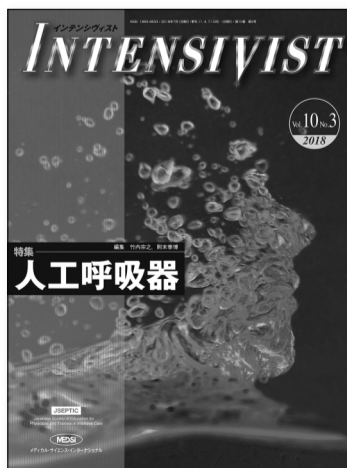


●責任編集:目黒周・大塚文男・小比賀美香子・鈴木利彦・藤谷茂樹 ●一部定価:4,600円+税 ●ISBN978-4-89592-954-7

集中治療の“いま”を検証し、 “これから”を提示するクオーターリーマガジン

インテンスヴィスト INTENSIVIST Vol.10 No.3 2018

特集 人工呼吸器



●責任編集:竹内宗之・則末泰博 ●一部定価:4,600円+税 ●ISBN978-4-89592-991-2

Advertisement for Critical Care Management (CCM) and General Internal Medicine Manual. Includes book covers, author names (e.g., 平岡栄治, 則末泰博, 藤谷茂樹), and contact information for MEDSi.

Advertisement for Hospitalist and Intensivist magazines. Includes magazine covers, author names, and contact information for MEDSi.

プラクティカルなテーマが満載!

ジェネラリストBOOKS シリーズ



◎治療適応かどうかギリギリのケースに、どうアプローチするか?

外来でよく診る 病気ストレスな 症例への生活処方箋

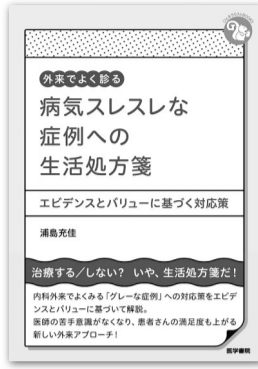
エビデンスとバリューに基づく対応策

浦島充佳

新刊

生活習慣病の症例を中心に、一般内科外来で遭遇するグレー(治療適応かどうかギリギリ)な症例への、エビデンスとバリュー(患者の価値観)を基盤としたアプローチを示す。

●A5 頁212 2018年 定価:本体3,600円+税 [ISBN 978-4-260-03593-4]



◎エキスパート直伝! 豊富な症例写真と解説で、的確な診断・治療・紹介へ。

よくみる 子どもの皮膚疾患

診療のポイント&保護者へのアドバイス

編集 佐々木りか子

新刊

外来でみることが多い子どもの皮膚疾患の原因・症状・鑑別・治療のほか、感染症では登校・登園の目安、あざ・色素異常では治療や紹介の目安もわかる。保護者への情報提供も充実。

●A5 頁256 2018年 定価:本体4,000円+税 [ISBN 978-4-260-03620-7]



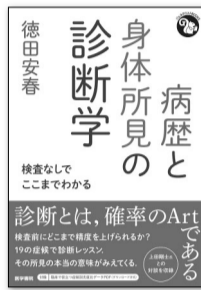
病歴と身体所見の 診断学

検査なしでここまでわかる

徳田安春

症例をもとに、指導医と研修医の問答形式で感度・特異度・尤度比の使い方が学べる実践書。付録には、即戦力となる「感度・特異度・尤度比一覧」のPDFを収載。

●A5 頁210 2017年 定価:本体3,600円+税 [ISBN978-4-260-03245-2]

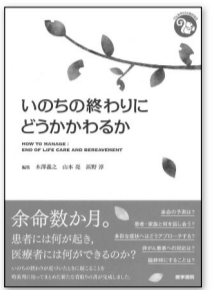


いのちの終わりに どうかかわるか

編集 木澤義之・山本 亮・浜野 淳

総合診療医や内科医、およびそれを取り巻くメディカルスタッフに求められるエンドオブライフ患者へのかかわり方の知識とスキルをまとめた1冊。

●A5 頁304 2017年 定価:本体4,000円+税 [ISBN978-4-260-03255-1]



認知症はこう診る

初回面接・診断からBPSDの対応まで

編集 上田 諭

「認知症は日常的に診るけれど、イマイチ診方がわからない。薬を出すだけでいいの?」かかりつけ医のそんなお悩みに効く本。豊富な事例とともに、具体的手法をレクチャー。

●A5 頁264 2017年 定価:本体3,800円+税 [ISBN978-4-260-03221-6]



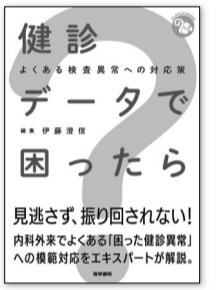
健診データで困ったら

よくある検査異常への対応策

編集 伊藤澄信

外来で一般医が困る健診データ異常のパターンを集め、基本対応とそのエビデンスをわかりやすく示した。内科外来に欠かせない1冊。

●A5 頁192 2017年 定価:本体3,600円+税 [ISBN978-4-260-03054-0]



保護者が納得! 小児科外来 匠の伝え方

編集 崎山 弘・長谷川行洋

その説明はツウジテル? 不安そうな保護者、パニックになっている保護者、無理難題を訴えてくる保護者、外来にいませんか? 保護者が納得する説明の仕方、教えます。

●A5 頁228 2017年 定価:本体3,800円+税 [ISBN978-4-260-03009-0]



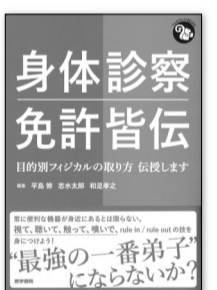
身体診察 免許皆伝

目的別フィジカルの取り方 伝授します

編集 平島 修・志水太郎・和足孝之

「最強の一番弟子」にならないか? 便利な機器が常にあるとは限らない。視て、聴いて、触って、嗅いで、rule in/rule outできる身体診察を身につけよう。

●A5 頁248 2017年 定価:本体4,200円+税 [ISBN978-4-260-03029-8]



8 medicina

Vol.55 No.9

特集 もっともっとフィジカル! 黒帯級の技とパール

今後さらに人工知能が医療分野に普及していくのは間違いない。では、将来的に人間の医師が行う診察とは何だろうか。その1つの答えがフィジカル、つまり身体診察である。本特集では日常診療で遭遇するさまざまなケースに対し、フィジカルでいかにどこまで迫れるかをスペシャリストが解説。「徒手空拳の医療」の魅力をお伝えする。

企画:徳田 安春(群馬沖縄臨床研修センター)

INDEX

- 座談会: Physical examination forever!!
- I章: 循環器系の症候
- II章: 呼吸器系の症候
- III章: 消化器系の症候
- IV章: 内分泌代謝系の症候
- V章: 皮膚・粘膜の症候
- VI章: 筋骨格関節系の症候
- VII章: 神経系の症候

●1部定価: 本体2,600円+税

連載

- 見て、読んで、実践! 神経ビジュアル診察
- 医師のためのビジネススキル
- 母性内科の「め」-妊婦・授乳婦さんのケアと薬の使い方
- 物忘れ外来から学ぶ現場のコツ 認知症患者の診かた
- 目でみるトレーニング

▶2018年増刊号(Vol.55 No.4)

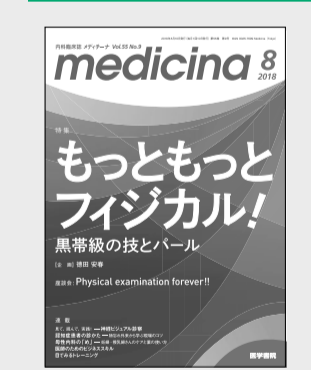
プライマリ・ケアでおさえおきたい 頻用薬・重要薬

●特別定価: 本体7,200円+税

▶来月の特集(Vol.55 No.10) クリティカル・ケアを極める

一步進んだ総合内科医を目指して

医学書院サイト内 各誌ページにて記事の一部を公開中!



http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/sogoshinryo

総合診療

Vol.28 No.8

特集 80歳からの 診療スタンダード Up to Date

Silver Standard

超高齢社会において、診療ガイドラインをどのように考えて使いこなすかは重要な課題です。本特集では、特に80歳以上の高齢者に多いプロブレムについての診療ガイドラインを、高齢者の外来診療目線でもとめました。高齢者にとってのcommon diseaseのみならず、高齢者の意思決定、転倒、尿失禁など日常診療で重要なプロブレムを網羅! 高齢者の「病気を診る」のではなく、高齢者を「トータルに診る」ための一助に。

企画:片岡 仁美(岡山大学病院 総合内科)

INDEX

- 【総論】高齢者診療のさまざまなガイドラインとどう付き合うか?.....森 臨太郎
- 【80歳以上の高齢者の外来診療 ここがポイント!】
- 高血圧診療スタンダードUp to Date.....山本浩一・柴木宏実
- 糖尿病診療スタンダードUp to Date.....原興一郎・宇都宮一典
- 骨粗鬆症診療スタンダードUp to Date.....折茂肇・石井成幸
- COPD/喘息診療スタンダードUp to Date.....大田健
- 認知症診療スタンダードUp to Date.....古和久典・中島健二
- 安定狭心症&慢性心不全診療スタンダードUp to Date.....今井龍一郎・関秀一・土居義典
- 脳卒中再発予防スタンダードUp to Date.....大槻俊輔
- 【80歳以上の高齢者のプロブレムへのアプローチ】
- 転倒予防スタンダードUp to Date.....鳥羽研二
- 尿失禁診療スタンダードUp to Date.....岡村菊夫
- 誤嚥性肺炎診療スタンダードUp to Date.....石田直
- 高齢者ケアの意思決定スタンダードUp to Date.....大内尉義
- 【80歳以上の高齢者診療トピックUp to Date】
- Q1 ポリファーマシー.....徳田安春/Q2 マルチモビリティ.....藤沼康樹
- Q3 高齢者総合機能評価(CGA).....玉井杏奈/Q4 ユマニチュード.....本田美和子

▶来月の特集(Vol.28 No.9)

●1部定価: 本体2,500円+税

オンコ・ジェネラリスト 「がん」に強い総合診療医をめざして

年間購読 受付中!

年間購読は個別購入よりも割引されています。送料は弊社が負担、確実・迅速にお届けします。詳しくは医学書院WEBで。

2018年 年間購読料(冊子版のみ)

▶medicina 36,580円+税(増刊号を含む年13冊)

▶総合診療 29,520円+税 個人特別割引25,680円+税あり 年12冊 医学生・初期研修医割引20,040円+税あり

電子版もお選びいただけます



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] http://www.igaku-shoin.co.jp [販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp